

## 令和4年度 農山漁村振興交付金(農福連携対策) 事業実施主体 評価一覧

### 1. 事業評価の実施

令和4年度に実施された「農山漁村振興交付金(農福連携対策)」の事業について、「農山漁村振興交付金(農福連携対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2271号農林水産省農村振興局長通知)第15の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

### 2. 事業評価結果の総括

令和4年度に交付金事業を実施した東北農政局管内の15地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。その結果、全ての地区が優良と認められる評価結果となった。

### 3. 各地区の評価結果

15件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント	
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8			
東北	青森県	弘前市	特定非営利活動法人team.Step by step		● ★	●	■ ◆						A	コロナ禍により施設内でのイベントは開催されなかったが、別事業者主催のイベントに参加するなど、できることをしようとする姿勢がうかがえる。その中で売上目標の未達、交流人口の未達であるが、新しい販路開拓、障害者への技術指導なども行っており、総合的にA評価とした。イベントが再開している今年度の活躍を期待したい。
東北	青森県	中泊町	株式会社奥津軽アグリ		● ★	●	■ ◆						A	就労者に配慮した作業ルールを構築することにより、結果、品質の向上につながっていることが高評価。売上の目標は未達であるが、品質が安定すれば販路拡大につながりやすい。冬の仕事作りにもつながっており、今後の期待も込めて総合評価をAとした。
東北	青森県	おいらせ町	社会福祉法人誠友会		● ★	●	■ ◆						A	加工場を活かし、新商品を出し続けていることで売上増につながっている。栄養価の高い品種や栽培方法の工夫が差別化につながる商品化につながっているのであれば、今後の期待は大きい。売上目標は未達であるが、積極的なイベントの参加、商品開発の意欲などを考慮し、総合的にAとした。
東北	宮城県	石巻市	一般社団法人イシノマキ・ファーム		●	●	■						A	農福連携サポーターの育成、障害者雇用の理解促進に努めたものの、目標のうち雇用、就労は概ね良好、人材育成は低調な達成となった。雇用のハードルが高い様子が見受けられる。引き続き、情報の周知に努めることを期待したい。 一方で、事業実施体制は計画どおりに整備され、予定した取組もほぼ計画どおり実施されており、総合評価はAとした。

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント	
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8			
東北	宮城県	松島町	農業法人有限会社F・F磯崎		●	● ★	■ ◆						A	<p>事業により整備した施設を新たな作業拠点として精米作業、焼き芋作り作業、みそ作り作業を行い、結果6次産業化が進んだ。障害者就労継続支援事業を展開している一般社団法人と連携し、安定的な農作業従事者が確保されている点は評価される。</p> <p>また、毎年の経営分析により経営の改善に取り組んだ。さらに、障害者が通年的かつ安定的に作業従事させる体制が構築されたことにより総合評価はAとした。</p>
東北	福島県	郡山市	特定非営利活動法人真善美		● ★	●	■ ◆						A	<p>農業の大変さを感じつつ、指導農業士の指導をあおぐなど前向きな取組がみられる。栽培の失敗から売り上げが伸びていないが、指導の成果により土壌改良と野菜の種類の作付け品目が増加し生産拡大につながっている。</p> <p>今年度は障害者の自産自消と売上拡大に向かってしていると評価し、総合評価はAとした。</p>
東北	福島県	須賀川市	農地所有適格法人株式会社 agrity		● ★	●	■ ◆						A	<p>自社レストランの集客が売上減に直結しているが、コロナ禍が落ち着いたことで集客強化の活動を期待したい。</p> <p>農福連携の課題でもある就労者のスキルアップも、作業継続により身に付いているようで継続の力を感じられる。見学交流会により首都圏の企業や地元高校生ともつながりができ、遊休地の有効利用につながるなど広がりがあり、総合評価はAとした。</p>
東北	福島県	郡山市	株式会社希望ファーム		● ★	●	■ ◆						A	<p>ピーマン栽培3年目に入り、同じ野菜を作り続けてきたことで定植・管理・収穫・選果・出荷の流れの作業効率が上がり、就労者の自信につながったよい事例。</p> <p>売上目標は未達であるが、販売先を変えたり反収を維持しようとするなど努力がみられる。結果、全量出荷という黒字につながっている。</p> <p>今後、冬の仕事作りにも取り組み、収益拡大にもつながると思われることから総合評価をAとした。</p>
東北	岩手県	花巻市	高松第三行政区ふるさと地域協議会			●	●	□					A	<p>前年度に作成したマニュアルを活用し、さつまいも栽培、干し芋への加工を実施し、高齢者及び障害者の働く場の提供に貢献しており、障害者等の活動への参加意欲も向上している。干し芋の売り上げが低調だったものの、その原因は新型コロナウイルス感染拡大による対面販売の中止と明確であり、次年度は回復するものと予想される。雇用、就労、交流人口はほぼ目標どおり達成されていることから総合評価はAとした。</p>
東北	岩手県	花巻市	社会福祉法人悠和会			● ★	●	□ ◇					A	<p>先進地視察を受けた業務改善や、専門家から複数回どうの栽培技術指導を受けるなど意欲的に活動することでいずれの目標も達成されており、総合評価はAとした。取組の結果、ワインの品質向上、来客の増加、障害者のモチベーション向上にもつながっている。今後は原料となるブドウの安定生産と、その生産量に適合した事業の最適化を追求することにより、さらなる発展に努めていただきたい。</p>

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント	
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8			
東北	宮城県	角田市	社会福祉法人臥牛三敬会			● ★	●	□ ◇					A	雇用、就労は目標をやや下回ったものの、交流人口、売り上げは目標を大きく上回っている。事業実施体制も整っており、予定した取組もほぼ全て実施されているため総合評価はAとした。新たに取り組んでいる農作業や農福連携の取組の紹介をきっかけに企業の社員食堂との連携が生まれるといった新たな展開がみられる。こうした取組により、障害者が行う作業の幅が広がり、作業意欲や関心も向上しており、外部販売の機会も増えていることから、取組のさらなる発展が期待される。
東北	宮城県	栗原市	有限会社キリンロ			● ★	● ★	□ ◇					A	計画された取組はおおむね実施されており、運営責任者を中心に各団体と連携して事業が進められ、体制面も機能したと認められる。また、売り上げの目標達成状況は低調で、ワイナリーの整備は計画よりも遅れたものの、9月に完成し、その結果、目標値を超える就労者数を達成している。収穫時にボランティアが多数参加しており、交流人口の確保も順調である。また、ワインの販売動向は良好であった。これらのことから、総合評価はAとした。
東北	青森県	平川市	株式会社きりん				●	○	□				A	国産漆が激減する中、農福連携で漆苗育成に取り組むことは地域にとっても意義が大きい。 実地研修、講習会への参加、過去技術の研究、障害者向けマニュアル作成など、積極的に取り組んでおり、高評価。 新聞やメディアに取り上げられたことも活動を後押ししており、よい効果を生んでいる。 今年度の販売開始へ向けて期待も込めて総合評価をAとした。
東北	岩手県	八幡平市	株式会社HORSE&MUSH				● ★	○	□ ◇				A	整備事業による作業プレハブハウスの作業スペースの整備が行われたことで、作業場所の確保や安全性の向上につながり、作業マニュアルの作成を行ったことも含め障害者の就労の目標は達成された。 ウェブサイトの作成により関係者にも取組の詳細を効率的に伝えることができた。近隣の就労支援施設との連携を図ることができたことから総合評価はAとした。
東北	福島県	郡山市	一般社団法人 空				● ★	○	□ ◇				A	ハウスのカーテン工事、トイレの設置、保冷庫の設置は完了。 体験農業を毎月開催するのは取組を知ってもらうため、リピーター確保のためにも高評価。 研修会にも積極的に参加し、栽培のマニュアル作成も完成している。 ただし、業務過多と利用者の症状不安定により、安定的な経営が難しい状況。落ち着いて営業ができれば可能性はあると期待し、総合評価はAとした。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)  
ハード対策 ☆…交付対象年度(計画) ★…交付対象年度(実施済) ◇…目標年度(計画) ◆…目標年度(実施済)  
重点指導 ▼…重点指導(通知) △…重点指導(結果報告予定) ▲…重点指導(結果報告)

(注2) 「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調 評価対象外…評価対象外

#### 4. 第三者機関の意見聴取

「農山漁村振興交付金(農福連携対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2271号農林水産省農村振興局長通知)第15の3の規定に基づき、第三者機関である「東北農政局農山漁村振興交付金評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

##### 【評価委員会 委員】

委員長:中村 勝則(秋田県立大学准教授)

委員:横田 純子(特定非営利活動法人 素材広場 理事長)、渡辺 理絵(山形大学准教授)

##### 【令和5年度評価委員会の開催概要】

###### 第1回評価委員会

- 1 日 時 :令和5年7月13日(木) 10:00~11:00
- 2 場 所 :WEB方式
- 3 議事概要  
(1)事業評価の考え方について  
(2)評価対象地区について
- 4 主な意見  
事業実施主体から提出された書面により評価を行うのか。現地調査は行わないのか。

###### 第2回評価委員会

- 1 日 時 :令和5年8月17日(木) 13:30~15:30
- 2 場 所 :仙台合同庁舎A棟1階会議室
- 3 議事概要  
(1)評価結果について  
(2)評価結果の活用について
- 4 主な意見  
・現地調査実施の際、地区の選定に当たっては委員とも調整してほしい。  
・C評価の地区について、改善が見られない場合は指導をし続けるのか。ペナルティはないのか。